

理事長挨拶



学校法人国士館 理事長

大澤 英雄

おおさわ・ひでお

1936年北海道生まれ

1960年国士館大学体育学部卒業

1960年本学に入職、1981年体育学部教授、1992年から2001年まで同学部学部長、2003年から2006年まで国士館大学学長

2006年本学名誉教授、学校法人国士館常任理事、2008年学校法人国士館副理事長を務め、2009年4月学校法人国士館理事長に就任

1992年から2004年まで財団法人日本サッカー協会理事・特任理事、1998年から2004年まで全日本大学サッカー連盟理事長、2004年から2006年まで全国体育系大学・学長学部長会会長、2008年全国大学サッカー連盟顧問、2014年一般財団法人関東大学サッカー連盟会長、2015年からNPO法人日本サッカー指導者協会理事長

2009年から全国体育スポーツ系大学協議会理事、2012年から日本私立大学協会理事

2015年から公益財団法人私立大学退職金財団監事

国士館は1917(大正6)年に私塾「国士館」として創立し、1958(昭和33)年に国士館大学を創設して以来、学園内外の皆様からの厚いご支援により、大学7学部・10研究科および中学校、高等学校を擁する総合学園として発展してまいりました。

「世のため、人のために尽くせる人材『国士』養成」を旨とし、創立から100年を経て、表現方法は時代と共に変化を遂げてまいりましたが、その根底にあるのは「他への献身」という考え方です。これは、真心を持って人に尽くすことであり、本学創立者の柴田徳次郎先生が学生・生徒に対して深い愛情をもって教えを説く姿から、当時学生であった私自身が学んだことであります。本学が教育理念とする四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」を掲げ、人材育成に取り組んだ創立者の思いを、現代のニーズに合わせて伝えていくことが、継承者である私たちの使命であると考えます。一世紀前に創立者が掲げた理念は、今も脈々と受け継がれており、その一例として2012(平成24)年に設置した防災・救急救助総合研究所を中心に、防災拠点大学としての機能をさらに強化するとともに、学生・生徒への防災教育に力を入れています。

国士館は昨年創立100周年を迎えました。創立記念式典をはじめとする記念行事「国士館100年祭」を9日間にわたって開催し、多くのお客様のご来場のもと盛会裡に終えることができました。期間中に掲げた「100年分の感謝を込めて」というメッセージを皆さまにお届けすることができたならば、これ以上の喜びはありません。あらためてここに御礼を申し上げます。

国士館は新たな歴史の創造と発展に向け、その一歩を踏み出しています。今後は、第2次中長期事業計画の策定、2020東京オリンピック・パラリンピック支援など各種施策を推し進めながら、新時代にふさわしい国士館文化(ブランド)の醸成、スポーツ振興など様々な改革を実行してまいります。併せて、最先端の教育環境の維持と充実を図るべく、施設・設備環境の整備にも継続して取り組めます。社会に求められる学園であり続けるために、創立101年目からの歩みを確かな足取りで進めていく所存です。

トピックス

▶ 創立100周年記念式典・祝賀会を挙行

2017(平成29)年11月4日、創立100周年記念式典を東京・千代田区のホテルニューオータニの「芙蓉の間」で挙行了。式典には三笠宮家から彬子女王殿下が臨席されたほか、学園役職者をはじめ教職員、在学生代表者、卒業生、海外協定校や関係企業など1,000人を超える関係者らが、100年に一度の佳節を盛大に祝いました。



式典後には、創立100周年祝賀会を同じくホテルニューオータニの「鶴の間」に会場を移して開催しました。引き続き、彬子女王殿下も臨席され、卒業生のほか海外協定校や関係企業など、本学を支えてきた多くの招待客らで賑わいました。また、安倍晋三内閣総理大臣からのお祝いのビデオメッセージも上映されました。

▶ 国士館100年祭を開催

創立100周年を記念して、2017(平成29)年10月27日から11月4日にかけて「国士館100年祭」を開催しました。期間中は学園祭と合わせ、各キャンパスでシンポジウムやツアー企画など、さまざまなイベントが実施されました。



100年祭の開始を告げるオープニングセレモニーを、10月27日に世田谷キャンパスのグラウンドで開催。会場には学園役職者のほか学生・生徒・教職員ら約2,600人が出席し、創立100周年を祝うとともに9日間にわたる100年祭の成功に向け、出席者全員でバルーンリリースを行いました。



▶ 太宰府天満宮より梅の木が恵与

創立100周年を記念して、太宰府天満宮より梅の木が恵与されました。旧太宰府キャンパスなどを通して長年交流があったことから恵与されたもので、学生・生徒の成長と活躍を見守る学問の木として、世田谷に「しだれ梅」、町田に白梅の「長谷川しぼり」、多摩に紅梅の「天神梅」が植樹されました。



▶ 格付評価は昨年に続き「AA-」／「安定的」を取得

学校法人国士館は、2018(平成30)年4月16日付で株式会社日本格付研究所(JCR)より、年々厳しくなる環境の中で、昨年に引き続き長期発行体格付で「AA-(ダブルAマイナス)」の格付を取得するとともに、格付の見直しは「安定的」との結果を得ました。

この「AA-(ダブルAマイナス)」は、10等級ある格付の上から2番目(AAレンジ)に位置し、「厳格な予算管理の下、減収圧力に対応できる収支構造へ転換されつつあり、当面は底堅い基本金組入前当年度収支差額を確保できるとみられる」と評価されています。

▶ 国士館楓の杜キャンパス整備計画

2016(平成28)年町田市野津田に取得した校地の名称を「国士館楓の杜キャンパス」と命名し、今年度よりグラウンドをはじめとする新キャンパスの整備計画に着手しました。